同友ぐんま

同友会の活動はこちらのQRコードからご覧いただけます。▶

2021年 12月号

発行/群馬中小企業家同友会　〒371-0013　前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第二ビル4F　TEL 027-232-0001　FAX 027-232-0666　E-mail g-douyu@po.wind.ne.jp

常識を打ち消し 次のステージへ挑戦

2021経営研究集会を開催

十一月十九日（金）、桐生グランドホテルを会場に、Zoomミーティングを併用した「二〇二一経営研究集会」が開催されました。会の内外から約一二〇名（うちZoom参加約四〇名）が集い熱気溢れる大会となりました。

基調講演の講師には、前橋市出身で、店舗スタッフのDXサービス「STAFF START」を立ち上げ、複数のテレビ出演などでメディアを賑わせている㈱バニッシュ・スタンダード、代表取締役・小野里寧晃氏を迎え、「常識を打ち消し次のステージへ挑戦～ルールに縛られない自由な精神・思想こそ、最高の力～」と題して、自身の経歴から同サービスを立ち上げた経緯、さらに今後の展望などをお話しいただきました。

小野里氏は、金髪・ハーフパンツ・サンダル姿で三〇〇社以上の面接に挑み内定がゼロだった事や入社したWEB製作会社で一年間の水槽掃除といった、同社を立ち上げるまでの衝撃的なエピソードを紹介。その後立ち上げた㈱バニッシュ・スタンダードは「常識を消す」という理念を社名に込めたと語りました。しかし力不足から経営不振が続き、借金を背負い社員も失ったと言います。そんなどん底で、アパレル業界の友人からかけられた一言から「STAFF START」のアイデアを形にすると注目が集まり、同サービスは業種を越えて利用され、年間流通総額一二〇〇億円、利用ブランド数も一六〇〇を突破するサービスに成長しています。

そんな創業から現在までの十年間の同社の歩みを、時間いっぱい報告いただきました。

基調講演後のグループ討論では「あなたに必要な変化、挑戦は？」のテーマで意見交換。自社に必要な新しい取り組みや、経営者としての考え方をそれぞれが交流し、明日へのヒントを持ち帰りました。

参加者アンケートには「シンプルなメッセージで非常に楽しい講演だった」「小売業界での課題に目をつけ、解決しつつ、自身の事業を発展させるのは凄い」「話し方が分かり易く聞き入りました。自身の考え方を改める良い機会になった」などの感想が寄せられていました。

あらためて考える、障害のある人との関わり方

―第６回障害者雇用フォーラム開催―

十月二十七日（水）、障害者雇用委員会主催、太田支部協賛の「第６回障害者雇用フォーラム」が、ティアラグリーンパレス（Ｚｏｏｍミーティング併設）にて開催され、群馬の会員はもとより、県外の同友会会員もＺｏｏｍで参加しました。

今回は、神奈川同友会副代表理事の㈱ＦＣＣ、代表取締役社長・深澤正司氏が「障害がある人の自立。そのための企業の役割と経営者の責任」と題して事例報告を行いました。

深澤氏は、法人として障害者支援事業に取り組む目的を「障害者の自立」と語り、そのために自社で行っている様々な経営実践を、展開する事業所毎に紹介しました。上手くいった事や福祉事業だからこそ抱える課題も赤裸々に報告する内容から、社会が理解し、解決すべき問題だということが伺えました。

参加者からは「失敗しても諦めない経営に頭が下がる」「これから始めたい人間にとっては貴重なお話だった」「経営者だけの想いでは上手くいかず、社員さんをいかに巻き込んでいくかが、大きなポイントだと感じた」といった感想が記されていました。

初心に戻ってステップアップ

２０２１伸び盛り社員研修会

十一月十五日（月）・十六日（火）の二日間、伊勢崎市文化会館を会場に、入社三～五年目の伸び盛りな若手社員を対象とした「二〇二一伸び盛り社員研修会」を開催。受講生・同席者（経営者側）合わせて約四〇名が参加し、将来の会社を背負って立つであろう若手社員の役割、主体性とモチベーションを持って働くことの意義などを学びました。

一日目のテーマは「会社における自分の存在価値を見直そう」。アイスブレイクや研修の目的確認・目標設定に始まり、会社への「期待／貢献シート」のワークや「二七〇度サーベイ」を使った自己分析、「今後のキャリア形成」の講義、随所に実施したグループ討論などを通して、自己成長のヒントを掴んでいきました。

二日目のテーマは「今後の仕事への向き合い方を考えよう」。「行動する人、しない人」の講義、「情報共有」の講義＆ゲーム、キャリア形成を考える「パネルディスカッション」と各講義に付随するグループ討論などを通して、自立型社員へのステップを確実なものにしていきました。また、研修会の最後には「目標設定＆行動計画シート」に自分自身と向き合いながら熱心にペンを走らせました。

今回の伸び盛り社員研修会においても、経営者側は会場後方で研修生と共に学び、また、それぞれのグループに加わって研修生の課題や悩みごとに対する的確かつ親身になったアドバイスを送りました。まさに同友会の「共育」が実践される研修会となりました。

限りある資源を、次世代へ
株式会社 エスティビー
Stability Topline Business Co.,Ltd.
Zero Emission
産業廃棄物収集運搬
産業廃棄物リサイクルの提案
一般貨物自動車運送
塗装プラント清掃
〒379-2123
前橋市山王町1―19―14
TEL 027-212-3312
FAX 027-266-8288
http://www.s-t-b.jp

部品加工の　株式会社 マテハン
同友会の製造業と連携して
北関東機械加工センターを目指します。
ホームページで仕事の受注が出来ました。
好評「部品加工のマテハン」
URL:http://www.kk-matehan.co.jp/
E-mail:mth@kk-matehan.co.jp
従業員数　12名
代表取締役　島山　淳
群馬県太田市矢田堀町351-6
TEL　0276(37)4571
FAX　0276(37)4562

障がい者雇用はなぜ必要か？

渋川吾妻支部10月例会

十月二十九日（金）、渋川市中央公民館（Ｚｏｏｍ併用）を会場に「渋川吾妻支部十月例会」を開催。障害者雇用委員長を務める合同会社ユリア、代表・本多宏弥氏（伊勢崎支部）が「障がい者雇用はなぜ必要か？～障がいがある方と関わって気づいたこと～」をテーマに報告しました。

本多氏は自身が運営する障害福祉サービス事業所や就労継続支援事業の基本情報、群馬の障害者雇用委員会の歩みなどを丁寧に紹介。また、「障害者は特別な人間ではない（国民の七・六％）」「障害者だから難しいのではなく、すべての人材育成は難しい」「障害者も健常者も関係なく、社員一人ひとりを見ることは大切」など、データや実体験に基づいて障害者雇用の取り組み方や必要性を語りました。

報告後は「障害者雇用に対する見方は変わったか？」をテーマにグループ討論を実施。「障害者雇用をより現実的に、具体的に考えることができた」「まずは見学からでもトライしようと思う」「とても深い話。働く意味を考えさせられた」など、活発な意見が交わされました。

SDGsについて調べたことを発信してみよう

富岡安中支部10月例会

富岡安中支部では、十月二十六日（火）、富岡商工会議所会館を会場にＺｏｏｍミーティングを併用した支部例会を開催。例会の企画・設営を担当したチームメンバーが、それぞれＳＤＧｓの項目を一つずつ選び、調べてきたことを順番に発表していくスタイルで進行しました。

グループ討論では「ＳＤＧｓを聞いて私が考えたこと　初めて知ったこと　実はやっていたこと」のテーマで意見交換を行い、それぞれの考え方や取組みを紹介しあい、共通認識を深めました。

参加者アンケートには「難しく考えていたが、身近な活動に捉えられた」「皆さん濃い内容で、時間が足りなかった。一人ずつゆっくり聞いてみたい」「会社で実践できることから進めていきたい」「一人ではなく、みんなで取り組む問題であると感じました」といった感想が綴られていました。

企業の誕生と成長

沼田支部・鶴の花部会合同10月例会

沼田支部と鶴の花部会は、十月二十八日（木）、ホテル辰巳館（沼田支部）を会場に、Ｚｏｏｍミーティングを併設したハイブリッド例会を開催。元・㈱イトーヨーカ堂、専務取締役・伊藤裕久氏をお迎えし「企業の誕生と成長～その課程とマネジメント～」とのテーマで、イトーヨーカ堂の創業期から現在までの軌跡を辿る報告をお願いしました。

伊藤氏は、大正から始まるイトーヨーカ堂の歴史を、創業家としての内部からの視点で報告。大正・昭和・平成、そして今もなお途切れることなく受け継がれる企業の一端を短い時間で紹介しました。

例会後は講師を囲んでの懇親会を開催し、泊まれる方はそのまま辰巳館のお風呂を満喫。久しぶりの宿泊付きの例会を楽しみました。

参加者アンケートには「とても興味深い話が聞けて感激。伊藤さんの人柄も相まって良い時間を過ごせた」「創業期の貴重なお話を聞き、自分もたくましく生きて経営していこう思えた」といった感想が綴られていました。

経営理念の共有で組織は劇的に変化

桐生支部10月例会

十月二十五日（月）、桐生商工会議所（Ｚｏｏｍ併用）を会場に「桐生支部十月例会」を開催。オリジナル刺繍・プリント製品製造販売などを手掛ける㈱ユニマーク、代表取締役・尾花靖雄氏（桐生支部）が報告者を務め、「経営理念の共有で組織は劇的に変化～労働生産性ＵＰと離職率ゼロを達成～」をテーマに自身の経営体験を語りました。

社員数が増え、積極的な設備投資をしても「業績が伸びなかった」という同社。尾花氏は一から経営を学び直し、時間を掛けて実践してきた「社内勉強会（経営理念共有会）」を中心とした組織改革の事例と、その成果を語りました。また、報告のまとめでは「まずは経営者の姿勢を正すことが重要。自身の役割を改めて考えてほしい」と参加者に投げ掛けました。

その後のグループ討論は「あなたの課題は何ですか？」をテーマに実施。「社長自身が変わらなければ会社は絶対に変わらない」「社員を巻き込む力、思いだけでなく行動する力が重要」「社員のお客様は顧客、社長のお客様は社員という考えが自分には足りなかった」など、活発な意見が交わされました。

不測の事態への備え、あなたの会社は大丈夫？

前橋支部10月例会

前橋支部では十月二十日（水）、同友会事務所会議室とＺｏｏｍミーティングを会場に例会を開催しました。「不測の事態への備え、あなたの会社は大丈夫？」と題して㈱アプリ、代表取締役・大川耕市氏が、自己紹介・事業紹介と合わせて、ＢＣＰ（事業継続計画）の重要性を訴えました。

大川氏は世界でのＢＣＰの歴史と背景を紹介しつつ、難しい印象を持ちやすい〝事業継続計画〟について「家庭を維持し継続させるために働いているように、個人で置き換えると皆さん取り組んでいる事」と説明しました。また、企業毎にＢＣＰの取り組み状況チェックシートを記入し、客観的に自社の現状を確認しました。

参加者アンケートには「ＢＣＰこそ従業員を巻き込んで取り組む必要がある」「事が起こる前のリスク低減もＢＣＰだと知ったので、色々なリスクを洗い出しておきたい」「取り組み状況チェックシートで自社の課題が明確になった」といった感想が記されていました。

ＤＸ人材育成とＤＸ推進に向けた基礎作り

太田支部10月例会

太田支部では、十月十九日（火）、ＺＯＯＭミーティングを会場に支部例会を開催。群馬銀行へのＤＸコンサルなどを手掛ける㈱フィネット、代表取締役・田村吉章氏をお招きし「ＤＸはゴールじゃない」とのテーマで、ＤＸについて専門的な視点で、内容をかみ砕きながら報告していただきました。

田村氏は、日本ではデジタル化と混同したＤＸという言葉が使われているとして「会社存続や発展のために、デジタル技術を使って自社の製品やサービスを〝変えて〟いくこと」と、その定義を説明。人口減少により消費が落ち込み、製品が売れにくくなる。働き手も確保できず業務が逼迫、という流れが想定されるとして、中小企業こそ積極的に投資を行い、ＤＸ人材を確保し経費削減と効率化を図る必要があると分析しました。

参加者アンケートには「取り組む必要性とハードルの高さを感じた」「ＤＸ人材の育成が今後の課題となり、これを乗り越えなくては衰退に繋がるという危機感を感じた」といった感想が綴られていました。

心と体で学ぶチームビルディング

伊勢崎支部10月例会

十月十九日（火）、プラザ・アリアを会場に「伊勢崎支部十月例会」を開催。N's Peducation、代表・高屋敷奈央氏（前橋支部）が報告者を務め、「心と体で学ぶチームビルディング～良い組織は〝信頼関係〟で結ばれている～」をテーマに、講義や体験型グループワークを通して学び合いました。

チームビルディングとは「仲間が心を一つにして、一つのゴールに向かって進んでゆける組織づくり」。高屋敷氏による組織の発達段階（タックマンモデル）や心のあり方（ハートビーイング）などの説明を踏まえて、約十名×三つのグループに分かれて体験型グループワークを行いました。最初はチームが機能しない状態でしたが、最終的には全グループが目標達成に辿り着くことができました。

参加者アンケートには「組織の発達段階を身を持って体験できて非常にためになった」「めちゃくちゃ楽しかった。そして、チームの目標達成に感動した」「安全な場をつくることが組織で成果を上げるために必要不可欠」「チームワークの本当の意味が理解できた」などの感想が綴られていました。

不況を乗り越える同友会の人材育成

高崎支部10月例会

十月十二日（火）、ビエント高崎（Zoom併用）を会場に「高崎支部十月例会」を開催。群馬同友会・共育部会長の川上機工㈱、代表取締役・吉池睦氏、同部会メンバーの㈲山崎製作所、代表取締役・山崎将臣氏が「不況を乗り越える同友会の人材育成～社員だけじゃない！社長も一緒に育つ〝共育〟とは～」をテーマに、共育部会の活動紹介や意義を中心に報告しました。

吉池氏は「社員が輝く＝会社が輝く」との自身の考え方を前提に、共育部会が主催する各種社員研修会の価値を紹介。今後は「経営者の学びの場」の活動にも注力する方針を語りました。続いて山崎氏は「選ばれる企業づくり（採用と育成）」に共育部会を活用する自社事例を紹介。また、部会メンバーとして社員研修の企画に携わり、講師役を引き受ける意義を参加者に投げ掛けました。

報告後は「各社の社員教育に対する課題」をテーマにグループ討論を実施。「社員が働く動機づけを深く掘り下げる必要性」「経営者自身がもっと学ばないといけないと痛感」「ヒューマンスキルとテクニカルスキル、どちらも同じように大事」など、活発な意見が交わされました。

アルミ精密部品の切削加工メーカー
株式会社 エーピーエム
充実した設備と長年培った確かな技術力で
お客様のご要望にお応えします！
〒373-0847 群馬県太田市西新町103-2
TEL0276-30-4058　FAX0276-30-4059
URL：http://www.apm-f.com　E-mail：fuse@apm-f.com

軽量鉄骨システム建築 プレハブハウス
用途に合わせ自由設計、コスト削減（事務所、店舗、倉庫、他）
プレハブパネル工法は規格部材を工場生産 経済性に優れ、短工期
株式会社 三栄工業
〒378-0002 群馬県沼田市横塚町 896－2
TEL. 0278－20－1110　FAX. 0278－22－2102
URL http://kk-sanei.net/

会員企業紹介

訪問インタビュー

沼田支部副支部長

㈲笠原産業

専務取締役　笠原 克也 氏（沼田支部所属）

今回は、理事／沼田支部副支部長／広報委員の㈲笠原産業・笠原専務にお話を伺いました。

▼会社概要

当社は先代がトラック一台で個人事業から始めた会社で、建設機械専門輸送と重機土木業を柱としています。輸送業では、主に建設機械や重機、建築資材などを運びます。これらは社会資本整備への貢献が大きなものです。土木事業は、道路や橋などのインフラ整備、氾濫防止の河川工事などが主となります。これらは生活や社会経済活動を支える基盤となり、どちらの事業も、暮らしを守り産業を支える重要な役割があります。

▼自己紹介

私は元々パソコンに興味があり、高校、専門学校とエンジニアの道を歩んでいましたが、卒業のタイミングで父が地元の土木関係の会社に就職を決めてしまい、畑違いの土木の道を進むことになりました。そこで七年ほど働いた後に笠原産業へ入社しました。

最初は現場での土木作業、トラックの運転手。並行して必要な資格を取得し現場の陣頭指揮といったように「頭に立つ人はもっと職人から学べ」を実行してきました。

プライベートでは、四十五歳を過ぎて始めたバイクとマラソン、出張先での食べ歩きや神社仏閣巡りも好きです。「よく働きよく休みよく遊べ」が私の信条です。

▼同友会入会のキッカケ

沼田市内の若手経営者・後継者を集めた有志の勉強会に誘われ、参加を重ねるうちに、ある日突然同友会の申込書を持ってきた友人にその場で書かされ入会しました（笑）。その時に同席していた仲間はほぼ同友会に入っています。

▼経営指針をつくる会

一番感じたことは「素直さと人との繋がりの大切さ」です。ベテラン経営者が謙虚な気持ちで耳を傾け、学ぼうとする姿勢に驚かされました。素直でないと人の話を聞けなくなり、人が話してくれなくなります。話しても仕方がないと思われてしまえば、必要なときに誰も助けてくれません。これでは他人の智慧を生かせないと気づいたと同時に、無自覚に犯してきた失敗の原因の一つだという事にも気づかされました。「因（原因）と果（結果）の間に「縁」がある」と聞いた事があります。「原因がわかっても人との巡り合わせがなければ結果に結びつかない」という意味です。私は「本人に実力がなければ成功しない」と思っていましたが、つくる会に参加して、この言葉の意味がわかりました。

▼同友会の生かし方

沼田支部はアットホームな感じがします。例会設営を担当した際には住職を招き、説法から経営を考えたりもしました。また、昨今の外部環境の変化を受けて、会員外経営者の話を聞く例会も楽しく、刺激的な内容も増えたと感じます。

専門部会や委員会の中でも採用・教育（共育）に興味があり、ぜひ会社として参加し、階層別に意識を変えていきたいと考えています。他社の〝真似ができる〟というメリットを生かし、人として組織として成長したいです。

▼今後の展望

当社の事業の需要はなくならないと思いますが、事業エリアの拡大は行わず、当面は地固めが必要だと考えています。

運送業では、免許制度の変更等でドライバーの確保が課題です。土木事業では、職人気質の親方が多く社員教育に課題があります。この課題に向き合い、他社を真似しながら改善に取り組んでいきます。

■顔の見える広報誌を目指して今日もどこかで取材中！

所在地／沼田市岡谷町1079－1
連絡先／TEL027－24－1579

会員たんしん

同友会のホームページで会員検索できます。

【前橋工場　２倍に増築】

システムセイコー㈱

半導体製造装置などを手掛けるシステムセイコー㈱（取締役･細野豊氏／高崎支部所属）は、前橋工場（亀里町）を増築した。取引先の生産増強や半導体需要の高まりを見据え、規模を２倍に拡大した。最新の省力型設備を導入し、生産能力も２倍に高めたい考え。11月中旬に稼働する。

同工場は、本社工場に次ぐ生産拠点として2016年に設立した。鉄骨造り一部２階建て延床面積約２千平方㍍で、今回の増築で東隣にほぼ同じ仕様の建物を設けた。

増築部分では、金属の温度変化を抑えて正確な測定ができる恒温室を新設。工場全体の断熱性も高め、空調設備も増強した。ほこりなどが付着するのを防ぐクリーンルームも新たに備えた。

［10／26付上毛］

【高齢世帯　困り事お手伝い】

㈱Pure Next

介護事業を展開する㈱Pure Next（代表取締役・塚田純次氏／富岡安中支部所属）は、高齢者の困り事を解消する暮らしのお手伝い事業「まごころサポート」を始めた。介護保険事業の対象外となる部屋の電球交換や草むしりなどに応じ、高齢世帯が自宅で安心して暮らせる環境整備を手助けする。吾妻郡内を中心にサービスを提供し、スタッフの体制が整えばエリアを拡充する。

風呂やトイレ掃除、カーテンの取り付け、ごみ捨て、家具の移動などの軽作業から買い出しまで幅広く対応する。サービスは20分500円から提供し、造園や外構など専門知識が必要な相談は専門業者を紹介する。

同事業を全国展開するMIKAWAYA21（東京都）のフランチャイズ店「吾妻ピュアネクスト店」として実施し、全国共通の事業ノウハウやスタッフ教育に役立てる。

［10／26付上毛］

【氷に生命　北の動物】

㈱出雲・ホワイトパーク

氷の彫刻で人気の渋川市石原の結婚式場、ホワイトパーク（㈱出雲、代表取締役・中野賢幸氏／渋川吾妻支部所属）内の「アイスワールド」で、11月初旬に公開予定の北海道をテーマにした「森の動物たち」の制作が急ピッチで行われている。

展示場裏にあるアトリエで、総料理長の元木文男さんが高さ１㍍、重さ140㌔の氷柱をチェーンソーや平のみを巧みに使いエゾシカを制作していく。

NPO法人日本氷彫刻会の師範で、氷の彫刻大会で数々の賞を受賞した元木さんは「顔の部分が難しく、特に目が大切」と話す。

氷の彫刻は調理師５人がエゾリスやウサギなど約30体を制作。作品がそろい次第、展示する計画だ。

［10／26付上毛］

【館林市内初の葬祭施設】

㈱メモリード

冠婚葬祭事業の㈱メモリード（取締役部長・渡辺秀信氏／太田支部所属）は１日、館林市東美園町に新築した市内初の葬祭施設「館林メモリードホール」の竣工式を開き、関係者約20人が完成を祝った。

完成したホールは木の温かさを感じる木造平屋建てで、宿泊可能な親族控室などを備える。式場と清め会場は仕切って２部屋に分けることができ、少人数の葬儀にも対応する。葬儀の様子を生配信するオンライン葬儀の機材も完備する。

［11／２付上毛］

【“ガルデナ”日本初販売】

㈱高崎松風園

造園事業やガーデニングショップ運営を手掛ける㈱高崎松風園（代表取締役･山口俊輔氏／前橋支部所属）が、ドイツの人気ガーデニングブランド「ガルデナ」製品の取り扱いを始めた。松風園は「実店舗での販売は日本初。ぜひ手に取って良さを確かめて」とする。

散水用品のホースストロリーセットやホースリールセット、スプリンクラーなどを10月下旬から取り扱っている。太陽光で発電して留守中に自動給水する「灌水アクアブルームセット」もある。

今は散水用品を中心にそろえているが、ガルデナ製品には剪定や園芸用品などもあり、今後、取り扱う商品の幅を広げていく方針。

［11／４付上毛］

【伊勢崎ニラ生かしパン】

㈲ゼンフーズ

県内のラーメン店、総菜メーカー、社会福祉法人の３者が連携し、伊勢崎市産のニラをふんだんに使った「伊勢崎ニラ餃子パン」を発売した。小腹がすいたときにぴったりの総菜パンで、ニラの豊かな香りとシャキシャキとした食感が楽しめる。

ラーメン店「麺や蔵人」が企画した。あんの提供は総菜製造の㈲ゼンフーズ（代表取締役・渡辺慎一氏／前橋支部所属）が、パンの加工は社会福祉法人明清会が運営する就労継続支援Ｂ型事業所ガーデンタイムズがそれぞれ担った。

伊勢崎市はニラ生産が盛ん。あんには新鮮なニラを一般的なギョーザに使われる量の３倍ほど使用した。パン生地は添加物不使用で、オーブンで温めればパリパリとした食感になる。

［11／19付上毛］

【事業所移転】

㈱skyマネジメントコンサルティング、代表取締役・鈴木智統氏（高崎支部所属）、代表取締役・横須賀巧哉氏（渋川吾妻支部所属）は、この度、下記のとおり事業所を移転しました。

〒370-0018　高崎市新保町16
TEL：027-386-4011　FAX：027-386-4012

【事業所名変更＆移転】

小林潤税理士事務所、所長・小林潤氏（伊勢崎支部所属）は、下記のとおり事業所名変更＆移転しました。

税理士事務所sky
〒370-0018　高崎市新保町16
TEL：027-386-4011　FAX：027-386-4012

【事業所移転】

㈱Sunset films、代表取締役社長・井埜涼太氏（高崎支部所属）、この度、下記のとおり事業所を移転しました。

〒370-0018　高崎市新保町16
NAGAIテナント２階Ｄ号室room ２

第7回 理事会報告

日時　十一月二日（火）
※今回の理事会も同友会事務所とオンライン併用のハイブリッド開催となりました。

出席者（順不同・敬称略）
正副代表理事／田村、町田、戸塚、杉崎、阿久戸、**常任理事**／吉池、提箸、山崎、本多、周藤、海老沼、佐藤、小林、星野、金井、佐藤、**理事**／小林、高屋敷、瀧澤、茂原、徳井、齋藤、阿久戸、神保、渡辺、村岡、中西、小鮒、関口、浅井、小板橋、**事務局**／阿久澤、竹内（役員計三十二名）

【議　事】
海老沼前橋支部長が議長をつとめ、田村代表理事挨拶のもと、第七回理事会開会。

Ⅰ．報告連絡事項

1．各支部・部会・委員会等の案内報告
各組織担当者より、今後の計画や活動報告等がありました。

2．その他
①支部還元金（下半期）の支払報告が事務局よりありました。
②黒岩事務局長へのお見舞い金、病気療養中の給与などについての報告が事務局よりありました。また、パート社員募集の進捗報告がありました。
③教育支援協会北関東の「高校生の学習支援事業」の協力依頼が杉崎副代表理事よりありました。
④群馬同友会の指針（第四次ビジョン）づくり、規約の見直しなどの報告が総務会よりありました。

Ⅱ．審議・承認事項

1．経営研究集会の詳細確認
今月十九日に開催が迫った経営研究集会について、プログラムや参加申込状況などの確認、最後の参加協力依頼が周藤実行委員長よりありました。

2．新年度理事候補者推薦依頼（再）について
あらためて各組織へ新年度理事候補者推薦依頼がありました。

3．入退会者承認と仲間づくりについて
前回理事会以降の入退者二名、退会者四名を承認。会員数は五三〇名となりました。

Ⅲ．意見交換・その他

1．意見交換
杉崎副代表理事が進行をつとめ、はじめに前回の学びをあらためて確認しました。
その後は『同友会運動の発展のために』を使って「人を生かす経営（労使見解）」を読み合せ、「経営者の責任」「対等な労使関係」についてグループ討論で深め合いました。

2．第八回理事会の開催確認
次回理事会を左記の通り開催することが確認され、議長選出は前橋支部に依頼しました。
■日時／十二月七日（火）
■会場／同友会事務所＋ウェブ（併用）

新会員ご紹介

11月度常任理事会承認
会員名簿追加録（順不同・敬称略）
企業名・役職・氏名・生年・所在地・電話・FAX・業務内容・趣味・紹介者

前橋支部

荒井法律事務所
〒371-0841　前橋市石倉町2-5-4
TEL：027－212－8592
FAX：027－212－8593
弁護士業、法令解説サイトの運営（新規事業）
特になし
【紹介者／事務局】

弁護士
荒井達也
S63年生

弁護士の荒井達也と申します。昨年10月より石倉町で弁護士事務所を開設しました。弁業士業とともに、空き家問題・所有者不明土地問題・不動産の終活に取り組むためのソーシャルビジネスを始めました。若輩者ですが、会員皆様との意見交換ができることをとても楽しみにしております。★Twitter：@AraiLawoffice

高崎支部

合同会社マークス・ブランディング
〒370-0003　高崎市新保田中町544-3
TEL：027－368－0667
企業や商品・サービスのブランディング、グラフィック・Webサイト・映像のワンストップ企画制作
釣り、読書
【紹介者／瀧澤　啓】

代表社員
本間恭介
S58年生

はじめまして。代表の本間と申します。当社は企業やサービスの課題を共有しながら情報を整え、ブランド構築からグラフィック・Webサイト・映像などを制作しています。この度学びの場を求めて入会させていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

今お使いの会計ソフトを
「未来を見る経営羅針盤」へ進化させる!!
クラウド予算実績管理ツール
YOJiTSU®
https://yojitsu.net/
同友会 高崎支部会員
株式会社システプラ　0120-638-377